

臨床研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

2021年1月1日から2021年12月31日までの期間に、
大腿骨近位部（頸部、転子部、転子下）骨折にて当院整形外科で入院し手術治療を受けられた患者さんは以下をご覧ください。

【研究課題名】 高齢者大腿骨近位部骨折術後患者における導尿の有無に関連する因子の後方視的研究

【研究責任者】福井赤十字病院 リハビリテーション科部理学療法士 中山 泰博

【研究目的と意義】

大腿骨近位部骨折と排尿障害の関連を明らかにするため、当院で手術を行った高齢者の大腿骨近位部骨折患者において、膀胱留置カテーテル抜去後に導尿を要した割合と、導尿の有無に関連する因子について後方視的に調査、検討することになりました。

【研究の方法】

福井赤十字病院で 2021年1月1日から2021年12月31日までの期間に、大腿骨近位部骨折（頸部、転子部、転子下）にて、当院整形外科で入院し手術治療を行った患者さんを対象に、診療録に基づき、年齢、性別、身体所見、投薬状況、既往疾患、導尿の有無、生活歴、家族背景、手術術式、検査結果、認知機能、など通常の診療で得られた診療情報を収集し、データ解析を行います。

なお新たに患者さんに検査や経済的負担をいただくことはございません。また研究実施計画書及び研究の方法に関する資料をご希望があれば閲覧することもできます。福井赤十字病院倫理委員会審査、病院長の許可を受けて実施するものです。

【個人情報の保護】

収集したデータは匿名化した上で保管します。この研究の全ての過程は、国が定めた倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

本研究は患者さんの過去のデータを利用するだけです。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」によると特に文書で同意をいただく手続きが必要ないとされております。しかしご自身の情報を使用されたくない患者さんもおられるかと思えます。その場合は研究に含めませんのでお知らせ下さい。研究への協力を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の研究担当者までお知らせください。

【問い合わせ先（研究担当者）】

氏名：中山 泰博(福井赤十字病院 リハビリテーション科)

住所：〒918-8501 福井県福井市月見 2-4-1

電話：0776-36-3630

FAX：0776-36-4133